

**小木直江津航路の
存続は**
江口 修一（創風）




問／航路存続と「あかね」からジェットフォイルへの変更に対する考えは。
答／佐渡島民の生活航路と県の広域観光を支える重要な航路である。ジェットフォイルは貨物運送や車両航送ができない。航路の維持は必須であり、佐渡汽船の経営改善と航路に必要な機能確保を要請する。



GIGAスクール構想の将来は
問／教員を支援する研修体制は。
答／教員が情報端末を使いこなすスキルを高めることが重要である。校内研修やプログラミング教育等の研修会やICT出前講座を実施する。



より重要となる行政改革の今後の方針は
問／行政改革の今後の方針を聞きたい。
答／今年度は、公の施設の再配置計画の策定、ICTの利活用のための検証を実施し、定員適正化については、引き続き、効率的・効果的な任用・配置を行っている。取組に対する市民の信頼と理解や協力を得ながら着実に進めていく。

**死亡後手続の簡略化・
ワンストップ化を**
杉田 勝典（公明党）




問／死亡後手続の簡略化に向け、端末で1回の届出で全申請書類に反映するシステムを構築し、更なるワンストップ化を図るべきではないか。
答／各種手続のワンストップ化は、市民目線で、効果や手法の検討をしていく。活発化する国の議論にも注視し、ICTの導入を進めていく。

マイナンバーカード多用途への活用は
問／マイナンバーカードの多用途への活用に向けた市の準備状況はどうか。更なるワンストップ化を図るべきではないか。
答／令和3年3月から希望者に対して健康保険証の機能を付加する予定である。市では必要なシステム改修を行うなど準備を進めている。

GOTOトラベルキャンペーンの効果は
問／市内におけるGOTOトラベルキャンペーンの効果と宿泊事業者の声をどう捉えているか。
答／現在約4割の宿泊事業者が参加し、秋の予約も入っているという一方、効果が見えないという声もある。厳しい状況であると捉える。

市営住宅入居の際の保証人市の対応は
問／国土交通省は公営住宅の入居基準から保証人規定の削除を通知した。当市の対応は。
答／保証人確保が困難な低額所得者が入居できるように保証人を不要とする条例改正を行う。

**ウィズコロナ時代の
教育は**
滝沢 一成（輝）




問／コロナ禍により困難な時代となり、学校では学習の進捗や子どもたちの心身を育む行事等に影響があった。将来子どもたちが「コロナ禍で大変だったけど、思い出がいっぱいある」と振り返れるよう、学校教育・行事をどうするか。学校教育や家庭、地域において、私たち大人ができることは何か考えるべきではないか。
答／学習の遅れはほぼ解消し、様々な工夫をしながら一人一人の心情や学力に応じた教育を実施してきた。学校行事は在り方を見直し、工夫しながら実施してきた。児童生徒が本質を考え、実践に結びつける主体性を育む機会としたい。家庭や地域の皆さんの理解と協力を得ながら、子どもの学びと成長を見守り、支えていきたい。

アスベスト除去に対する支援は
問／アスベストを使用した民間建屋の多くが解体時期を迎えているが、アスベスト処理に多額の費用を要し、助成も全くないため持ち主は解体できない。近い将来必ず、全国的な問題となる。国や県、他市に先駆け、助成を検討すべきではないか。市民の健康のため、市がなし得ることは何か、真剣に考えてほしい。
答／アスベストに関する施策は様々な動きがあるため、国等の動向を注視していく。長期的な視点で市として必要な施策を研究していく。